

市政を 問う

令和元年 第4回定例会 一般質問での質問・答弁【要旨】

一般質問を行った議員の順番で、各議員が一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

台風19号等の暴風雨を防災の教訓とせよ！

▼自転車の危険について考える

【吉田】 小金井警察によると自転車に関わる事故減らず、死者の多くはヘルメット未装着と聞く。ヘルメット購入費用の助成、自転車運転免許制度の確立、自転車保険加入促進を切望する。

【答】 ヘルメット着用や安全運転の啓発活動を進めるなかで、より一層の安全意識強化を図っていく。来年、自転車損害賠償保険等への加入が都条例で義務化される。周知・啓発に努める。

【吉田】 交通安全計画策定から約2年経過した。振り返りで更に市民の命に向き合って戴きたし。

【答】 関係各所と連携し進めていく。

▼暴風雨災害マネジメントの早期策定を

【吉田】 「暴風」イメージの台風15号では鉄塔の倒壊が目立った、市内総点検を実施せよ。

【答】 市内には鉄塔15基、ゴルフ練習場2箇所あり、事業者の協力を得て安全策を確保する。

【吉田】 「豪雨」イメージの台風19号では、市としては地震以外で初めて災害対策本部を設置し様々よく対応していたが、避難勧告、避難所対応等々にて市民の混乱が多く見られた。今後、ハザードマップの見直し、ホームページやSNSの有効活用を真剣に考え実行せよ。

国分寺市は暴風雨に対するリスクマネジメントが脆弱である。今年の災害を教訓にされたし。

【答】 多くの市民にご協力戴き被害は最小限に

自由民主党市議団
吉田 りゅうじ



留まった反面、情報発信面で混乱を招いた点等々反省すべき事項、改善すべき事項が露見した。ご指摘のとおり、地域防災計画の風水害編は地震編に準ずるとなっており、詳細が定められていない。近年多発する大型台風やゲリラ豪雨等に向けた対策が今後必要であると認識しており、地域防災計画の早期見直しに着手する。

【吉田】

末筆ながら、本年の自然災害により亡くなられた方へ哀悼の意を表明すると共に、被災された多くの皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。

誰もが安心して暮せる街づくりのために!!

1. 国3・4・11号線について

Q. 現在の進捗状況は？

建設環境部長) 関係権利者に対して物件調査を行っている。事業延長が720mに対し、2つの調査会社で対応。順次、個別に日程調整を行い、順調に調査をさせていただいていると伺っている。

Q. 今後の事業の見通しやスケジュールは？

A. 物件等の調査の進み具合によって、補償費の算定、権利者の方々との話し合いの後、合意いただければ契約という形になっていく。年度内に物件調査を一定程度完了させたいと考えていると伺っている。また、移転を要する方、建

てかえを要する方等においては生活再建を検討いただかねばならず、今後の見通しを立てるのが難しいが、事業認可期間の令和9年度までに整備がなされるよう、関係権利者のご理解、ご協力を得よう取り組むと伺っている。市としても、丁寧な対応が行われるよう東京都にお願いし、適宜連携を図って、早期に事業が推進するよう努めたい。

2. 防犯カメラについて

Q. 以前、市内で不法投棄があった際、防犯カメラのデータ提供を警察から求められたところ、提供を断られたという事案をもとに伺います。防犯カメラの設置目的は犯罪抑止のため

自由民主党市議団
小坂 みちよ



すが、もしなんらかの事件が起きた際には情報は警察に提出されると思いますが、その根拠は？

総務部長) 防犯カメラ設置及び運用に関する条例第7条第2項の第2号、法令に定めがあるときに根拠となる。例えば、裁判官が発布する令状に基づく場合、裁判所からの文書提出命令等が想定される。

その他 おたかの道湧水園、スポーツ振興、いずみホールの使用状況、PTA活動、空き家対策、ごみ屋敷等について質問。

災害情報伝達ツールに防災ラジオの導入を！

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1) 災害時の情報伝達の課題はSNSを使わない市民への対策。皆が災害情報を共有できる仕組みが必要。防災行政無線が横入りできる「防災ラジオ」の導入を求める。市) FM波を利用するため、災害協定先のエフエムたちかわと協定内容変更等、検討していきたい。さの) 台風19号の対応として、市役所での電話対応は十分だったか。市) 回線がふさがることあった為、ダイヤルイン回線の増設を検討している。さの) 地域防災計画を市民に周知するために概要版を図書館などに配架すべき。市) 防災対応力の強化につながるため、公共施設に配架したい。

(2) 台風15号で液体ミルクを備蓄していた自治体で利便性が確認された。災害時に役立つ乳児用液体ミルクの備蓄を求める。市) 保存期間や保管場所などの諸課題を整理し、検討したい。

(3) コンビニエンスストアへのAED設置は今年度5台設置予定だが、進捗状況は。市) AEDの購入や覚書の締結に向けて早急に進めていく。

2. がん検診について

死亡率の一番高い部位は「肺」だが、肺がん検診の受診率があがらない。現在でも特定健診と同時受診できるが、特定健診と肺がん検診がセットで当たり前という「オプトアウト方式」の導入の検討を求める。市) 医師会と相談の上、

公明党
さの 久美子



がん検診の効果的な実施にむけて検討したい。

3. 平和事業について

来年は戦後75周年。平和事業の拡大版として戦争体験を聞く講演会を図書館事業と一緒に開催できないか。市) 教育部と調整し検討を進めたい。教育) 事業趣旨を踏まえ協議、検討する。

4. 認知症対策について

意欲ある認知症サポーターの活躍できる仕組み作りが「チームオレンジ」に必要なが、市の考えは。市) ステップアップ講座の効果的な開催や活躍の場のコーディネート等の充実を図る。

免疫消失に伴うワクチン再接種への助成を！

ワクチンの再接種助成について

だて) 小児がんなどで骨髄移植等の治療をうけると、これまでの予防接種効果が失われてしまうケースがある。その際のワクチン再接種は自費となり、20~30万円という大きな経済負担が伴う。一部の自治体で行われているような再接種助成制度を当市でも検討できないか。

市) 多摩地区では稲城市と町田市が行っている。当市でも国や都の動向を注視し、検討する。

自転車保険の義務化について

だて) 東京都の条例が改正され、来年4月から自転車保険が義務化となる。自転車事故の抑制や、万が一に備え重要である。市の取組みは。

市) 市報やホームページ等での周知に努めるとともに、学校への情報提供や加入率向上への啓発を行っていく。市の業務に関する自転車の利用はすでに保険の適用対象となっている。

だて) 月額100円程度から入れる保険もある。まずは義務化について、広く周知を求める。

障がい者就労施設からの物品調達推進を！

だて) 法律に基づき当市でも方針を策定し、障がい者就労施設からの物品等の調達を進めているが、ここ数年は金額的に横ばいの状況である。就労を基軸とする障がい者の自立促進のためにも、より積極的な取組みを求める。

市) 市役所内の全課での実績を目標に来年度方

国分寺政策市民フォーラム
だて 淳一郎



針を設定した。発注促進へのマニュアル作成や趣旨の理解浸透を図り、調達の拡大に努める。

だて) お仕事ネットワークとの連携強化も求む。

可燃ごみ収集ルート変更と安全対策について

だて) 新可燃ごみ処理施設への搬入開始に伴い、可燃ごみ収集のルート変更が行われる。今まで収集車が通らなかつた時間帯、経路を通行することも予想され、子どもたちの下校時間とも重なる可能性もある。万全の安全対策を求める。市) 収集委託事業者には子どもたちへの安全対策を含め、改めて注意喚起を行う。